

こんにちは 野々市市議会です

平成27年度一般会計補正予算等を審査 … 2P
6月定例会一般質問 8人が登壇 … 4P
市民の声 … 8P

議会だより

6号

2015年(平成27年)

時空の街 “野々市じょんからまつり”

平成27年度 一般会計補正予算を可決

主な補正は子ども医療費助成の改定に伴うシステム改修、委託料等に2,370万円、御園小学校障害児用エレベーター設置事業費に7,340万円です。

市長提出の11議案を可決・承認

平成27年6月定例会を、6月11日から30日までの20日間の日程で開催し、市長提出の平成26年度一般会計補正予算をはじめとする専決処分5件、条例3件など11件を可決・承認しました。また、監査委員、公平委員会委員の選任に同意し、人権擁護委員を全会一致で承認しました。その他意見書2件を可決し、請願1件を不採択としました。

議決結果一覧

6月議会で審査された案件		議案名													議決結果			
■全会一致で議決された議案																		
議案第32号	専決処分(平成26年度野々市市一般会計補正予算第6号)の承認について														承認			
議案第33号	専決処分(平成26年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算第3号)の承認について														承認			
議案第34号	専決処分(平成26年度野々市市介護保険特別会計補正予算第4号)の承認について														承認			
議案第35号	専決処分(平成26年度野々市市水道事業会計補正予算第2号)の承認について														承認			
議案第36号	専決処分(野々市市税条例等の一部を改正する条例)の承認について														承認			
議案第38号	専決処分(野々市市介護保険条例の一部を改正する条例)の承認について														承認			
議案第39号	平成27年度野々市市一般会計補正予算(第1号)について														可決			
議案第40号	市道路線の認定について														可決			
議案第41号	野々市市監査委員の選任につき同意を求めることについて														同意			
議案第42号	野々市市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて														同意			
諮問第1号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて														適任			
議会議案第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書														可決			
議会議案第3号	教育予算の拡充を求める意見書														可決			
■意見が分かれた議案																		
	議案名	五十川員申	北村大助	馬場弘勝	安原透	宮前一夫	西本政之	中村義彦	杉林敬	金村哲夫	辻信行	早川彰一	尾西雅代	土田友雄	大東和美	岩見博	議決結果	
議案第37号	専決処分(野々市市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	承認
請願第4号	「平和安全法制整備法」および「国際平和支援法」関連法案の撤回を求める意見書を政府に送付する請願書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	不採択	

○=賛成、×=反対

議案を 審査しました

専決処分(平成26年度野々市市一般会計補正予算第6号)の承認に
CSM

Q 小水力発電の継続、今後の見通しは。
A 県が作って市が譲り受けたもので、教育資料として継続したい。農業用水での小水力発電は今後、継続することは難しいと考えており、修理不能となった時には廃止ができないか検討したい。

Q 扇が丘中央線について、工事の完了はいつか。
A 消雪の配管、電気設備など今年の冬までに完了予定。国からの補助が、要望額とおり交付されなかったため、事業が遅れた。

Q 就学援助の基準を引き上げる検討を。
A 近隣の他の自治体も生活保護の基準の1.3倍であり、今後もこのまましていきたい。

Q 有害鳥獣捕獲委託について、カラスの駆除の委託をどのような方法で行っているか。
A 先日も猟友会と市内、調整区域で調査を行った。捕獲する場合は大掛かりな仕掛けが必要であり、駆除となると空気銃等を使用することになるが住宅地が多い中、駆除は不可能である。巢を見つけた場合は巢の撤去などの対処を考えていきたい。

Q 特別支援学級に対する予算についての詳細および、特別支援教育支援員の減額の理由は。
A 昨年度、特別支援教育支援員は小学校5校に14名配置した。特別支援学級の定数については国で定められており、1つの障害種で1学級8名が最大である。他に特別支援学級に在籍する児童の学年の幅が広く、指導が難しい学校には、県に要請してサポート1名増員された。また、小学校では支援員の人数は減らしておらず、勤務実績による減額。中学校も人数は変更していないが、生徒指導上の問題により学校を支援するため、新たに6名の指導員を見込んでいたが、3名で対応できたため減額となった。

Q 再生资源売却収入の内訳は。
A エコステーションと町内会が集めた資源回収の収入であり、昨年度は724万円であった。



町内会の資源回収風景

専決処分(平成26年度野々市市介護保険特別会計補正予算第4号)の承認について

Q どのサービス給付費も減額になっているが、周知が足りなかった結果なのか。また、経済的な理由などにより必要なに受けられない人がいるのではないか。
A 窓口での相談等に際しては、本人の状態に応じて必要な介護サービスを提供するよう努めている。予算は前年度実績や伸び率を踏まえて編成して

人事

- ▼監査委員
小松 靖典(やすのり) 菅原町
- ▼公平委員会委員
田中波津美(はつみ) 粟田3丁目
- ▼人権擁護委員
坂本 光寿(こうじゅ) 粟田2丁目

9月定例会の日程 が決まりました

- ▼期間
9月8日(火)～30日(水) 23日間
- ▼開会
8日(火) 午前10時
- ▼一般質問
15日(火)、16日(水) 午前9時30分
- ▼予算決算常任委員会
17日(木)、18日(金)、24日(木)、29日(火)
- ▼総務産業常任委員会
24日(木) 午後2時
- ▼教育福祉常任委員会
28日(月) 午前10時
- ▼閉会
30日(水) 午後2時

り、今回の補正予算は、当初見込んだものより実績が少なかったため、減額となった。

平成27年度野々市市一般会計補正予算(第1号)について

Q 御園小学校のエレベーターに地方交付税はいくら見込まれているのか。また、クレーラーの設置に対する交付税措置は。
A 交付税措置はない。これまでの経過により大規模改造のメニューに入り、国からの補助金が3分の1となっている。

議会人事

加賀五市議会議長会
議長 早川 彰一

白山石川医療企業団議会
副議長 西本 政之

白山野々市広域事務組合議会
副議長 尾西 雅代



中村 義彦 議員

Q 防災都市野々市をブランドとして確立せよ

A 防災都市野々市のブランド力向上に努めたい

ヤリリング調査のうえ検討したい。

北鉄石川線の利用促進の考えを問う



質問 北鉄石川線と北陸本線との相互乗り入れの議論を石川中央都市圏での協議の議題として取り上げられ

質問 当市の地理的な利点を最大限活かし防災都市野々市をブランドとして確立し、企業誘致及び定住促進を図れ。

市長 今後さらに産学官民4者連携により防災都市野々市としてのブランド力向上に努めたい。

中央地区整備事業における各大学との連携を問う

質問 中央地区整備において連携協定のある大学との共同事業による賑わい創出を図れ。

市長 金沢工大、県立大、先端技術大学院大学からアイデアをいただき賑わい創出に最も効果的な活用を検討したい。

公共交通の充実を図りコンパクトシティを目指せ

質問 コンパクトシティを目指す上で公共交通の充実が重要であり、まずはのっぺの年間フリーパス等の導入を図ればどうか。

市長 野々市市公共交通協議会において公共交通の充実を図る検討をし、のっぺのフリーパス等については、利用者ニーズ等のヒ

市長 北鉄石川線と北陸本線との相互乗り入れが実現すれば利便性が高まり利用者数の増加も期待され素晴らしいことと思うが、電

市長 北鉄石川線と北陸本線との相互乗り入れの議論を石川中央都市圏での協議の議題として取り上げられ

Q 市は、新規事業に取組む企業への支援や、新たな起業家育成を行っているか

A 支援や育成は行っているが、充実させていく必要がある

政治への参加についての所感を伺う。

総務部長 本市に住まわれる期間が短くても、野々市市で暮らす以上野々市市

市長 現在までも、幾つかの取組は行ってきたが、新たな挑戦を行う者を育成、支援していくことは本市の活力にとっても大変有効である。市の制度を多くの方に利用していただく事を念頭におきながら支援の仕組み連携について、関係の皆様とお話しさせていただきながら進めていく。

市長 現在までも、幾つかの取組は行ってきたが、新たな挑戦を行う者を育成、支援していくことは本市の活力にとっても大変有効である。市の制度を多くの方に利用していただく事を念頭におきながら支援の仕組み連携について、関係の皆様とお話しさせていただきながら進めていく。

野々市市オープンデータの今後の取組は

質問 投票権が18歳以上からになる。大学生など短期的な移住者の投票、地方

※オープンデータとは政府、自治体等が持つデータを機械可読性の高い形で提供する二次利用可能なデータです。



五十川 員申 議員

質問 市には、二つの大学があり、各所で起業家支援を行っている。市として

市長 現在までも、幾つかの取組は行ってきたが、新たな挑戦を行う者を育成、支援していくことは本市の活力にとっても大変有効である。市の制度を多くの方に利用していただく事を念頭におきながら支援の仕組み連携について、関係の皆様とお話しさせていただきながら進めていく。

市長 現在までも、幾つかの取組は行ってきたが、新たな挑戦を行う者を育成、支援していくことは本市の活力にとっても大変有効である。市の制度を多くの方に利用していただく事を念頭におきながら支援の仕組み連携について、関係の皆様とお話しさせていただきながら進めていく。

市長 現在までも、幾つかの取組は行ってきたが、新たな挑戦を行う者を育成、支援していくことは本市の活力にとっても大変有効である。市の制度を多くの方に利用していただく事を念頭におきながら支援の仕組み連携について、関係の皆様とお話しさせていただきながら進めていく。

大学生など短期的移住者の投票、地方政治への参加について

質問 投票権が18歳以上からになる。大学生など短期的な移住者の投票、地方



杉林 敏 議員

Q 栗市長の3期目における抱負と決意について伺う

A 「住み心地一番のまち」の実現をめざし本市の発展に尽くしていく

質問 これまでの2期8年の総括と自己評価を踏まえ、改めて3期目に臨む抱負と決意を伺う。

市長 就任以来、「住んでよかったと実感できる野々市を築く」ことが使命であると心に刻み、「市民が主役のまちづくり」、「野々市らしさの発信」、「集い」と「ぎわいの創出」の3つを掲げ、まちづくりを進める。

市長 子育てしやすい環境整備を図るため、これまでの「償還払い方式」にかえて「現物給付自動償還払い併用方式」にて実施したい。

市長 子育てしやすい環境整備を図るため、これまでの「償還払い方式」にかえて「現物給付自動償還払い併用方式」にて実施したい。

市長 子育てしやすい環境整備を図るため、これまでの「償還払い方式」にかえて「現物給付自動償還払い併用方式」にて実施したい。



岩見 博 議員

Q 坪当たり132万円、12億円もの駐車場用地購入は必要か

A 事業の大目標にぎわいを創出することにあり比較できない

質問 中央公民館の駐車場を広げるために坪当たり132万円、総額12億円も

市長 今回の事業の大目標は、旧来の中心市街地の都市再生整備を通じて、市民協働のまちづくりを推進し、地域における市民活動の振興を図り、人、モノが出合い、交流し、にぎわいを創出する環境を整備することにあり、単純に比較できるものではない。

市長 今回の事業の大目標は、旧来の中心市街地の都市再生整備を通じて、市民協働のまちづくりを推進し、地域における市民活動の振興を図り、人、モノが出合い、交流し、にぎわいを創出する環境を整備することにあり、単純に比較できるものではない。

市長 今回の事業の大目標は、旧来の中心市街地の都市再生整備を通じて、市民協働のまちづくりを推進し、地域における市民活動の振興を図り、人、モノが出合い、交流し、にぎわいを創出する環境を整備することにあり、単純に比較できるものではない。



馬場 弘勝 議員

Q ののいち創生総合戦略の策定と市民協働のまちづくりへの工夫は

A アイデアを出し合うことを目的として、市民フォーラムを開催する

質問 地方公共団体は生き残りをかけて待った無し戦略勝負の時代に突入した。「ののいち創生総合戦略」の策定作業について、「市民協働のまちづくり」という観点から、どのような工夫を進めていくのか。

市長 広く市民の意見を反映させるため、広報誌に本市の人口ピラミッド推計を掲載したチラシを全戸配布する。また、市民と高等教育機関、企業などの協働により、これからのまちづくり、アイデアを出し合うことを目的として、市民フォーラムを開催する。

市長 都市圏ビジョンの中身については、今後、協議を進めていくことになるが、広域での観光や公共交通のネットワークの形成なども入ってくるので、積極的

市長 都市圏ビジョンの中身については、今後、協議を進めていくことになるが、広域での観光や公共交通のネットワークの形成なども入ってくるので、積極的

地域経済分析システム（リーサス）の活用を

質問 一般の方でも自宅パソコンで閲覧が可能な地域経済分析システムが共用開始された。産業構造や人の流れなどに関するビッグデータを集約し、可視化するシステム（リーサス）の活用策は。

企画振興部長 現在進めている人口や産業構造の分析に活用しており、本市の特徴的な部分について考察を行っている。本市が独自に持っているデータも併せて、より正確な状況を分析していく。総合戦略に必須となつていく「重要業績評価指標（KPI）」の設定にも活用していきたい。

Q 「スポーツ振興を活かしたまちづくり」について本市の今後の計画と展望を伺う

A 中央公園の拡張計画に合わせて総合的なスポーツゾーンの整備を視野に入れて検討したい



北村 大助 議員

質問 H26年度の市内体育施設利用者は延べ29万7268人と大変多くの方々にご利用いただいている中、施設の整備不足や老朽化、また容量不足により充分を満たしているか伺う。

市長 今後、修繕などを行い、できるだけ長く利用していただけるように努めていきたい。また、スポーツに親しむ市民の増加に備えて、有識者からなる体育施設整備基本計画検討委員会を設置し、先般答申をいただいた。今後、パブリックコメントを通して、中央公園拡張計画に合わせた総合的なスポーツゾーンの整備を視野に入れて検討していきたい。

産業建設部長 本市の市道に関するデータはありませんが、市道に関する経済損失額の調査の必要性は特にないと思つている。

質問 積雪による経済損失額が石川県は経済損失上位県であるが、本市の積雪時による経済損失額の試算を行ったことはあるか。

市長 今後、修繕などを行い、できるだけ長く利用していただけるように努めていきたい。また、スポーツに親しむ市民の増加に備えて、有識者からなる体育施設整備基本計画検討委員会を設置し、先般答申をいただいた。今後、パブリックコメントを通して、中央公園拡張計画に合わせた総合的なスポーツゾーンの整備を視野に入れて検討していきたい。

市内既設道路の消雪装置設置基準について

質問 積雪による経済損失額が石川県は経済損失上位県であるが、本市の積雪時による経済損失額の試算を行ったことはあるか。

市長 今後、修繕などを行い、できるだけ長く利用していただけるように努めていきたい。また、スポーツに親しむ市民の増加に備えて、有識者からなる体育施設整備基本計画検討委員会を設置し、先般答申をいただいた。今後、パブリックコメントを通して、中央公園拡張計画に合わせた総合的なスポーツゾーンの整備を視野に入れて検討していきたい。

産業建設部長 本市の市道に関するデータはありませんが、市道に関する経済損失額の調査の必要性は特にないと思つている。

質問 次世代消雪装置の技術開発を金沢工大と共同開発を行い本市独自の装置システムを構築するといった斬新な発想はないのか。

市長 いわゆるゲストティチャーについては学校からの要請があればいつでも学校に向いて多くの子どもと触れ合っていきたい。



大東 和美 議員

Q 市営プールの水深は調整できないか

A 水深台を設置しての調整は考えていない

質問 市営プールの深いところでは130cmと水深が深いため、水中ウォーキングが困難な人がいるが掌握しているか、また、その対応を伺う。

教育文化部長 水深が深い人がいることは把握している。既存の水深台(40cm)を入れると浅くなりすぎ効果が減るため、身長の場合などで折り返すよう指導している。

市長 放課後児童クラブの施設整備を予定している。また、「ワンランク上のマイ保育園推進事業」で、「育児教室などの備品購入に対する支援」として、外部講師を招いての育児講座を実施するための備品・遊具の購入補助や、「産後安心ヘルパー派遣事業」の条

市長 現在15クラブあり、770人の児童を保育している。保護者会や社会福祉法人が運営し開所時間等はそれ

市長 現在15クラブあり、770人の児童を保育している。保護者会や社会福祉法人が運営し開所時間等はそれ



西本 政之 議員

Q 石川中央都市圏について考えを伺う

A 参加に向けて協議していきたい

質問 総務省は金沢を中心とした近隣5市町の石川中央都市圏を採択した。本市として、どのように関わっていく方針か。また、本市の総合戦略とどう整合性を図るのか。

市長 参加する市町も国からの財政的な支援が受けられる。また、単なる事務分担だけでなく、政策面での役割分担も可能となることから、参加にむけて協議を進めていきたい。また、野々市版総合戦略は都市圏ビジョンが反映されたものになると思う。

市長 魅力ある都市圏を形成すれば、県外から定住者を呼び込める可能性もある。都市圏の中でも「是非、野々市に住んでみたい」と

市長 魅力ある都市圏を形成すれば、県外から定住者を呼び込める可能性もある。都市圏の中でも「是非、野々市に住んでみたい」と

市長 魅力ある都市圏を形成すれば、県外から定住者を呼び込める可能性もある。都市圏の中でも「是非、野々市に住んでみたい」と



新人議員に期待すること

吉岡 潤さん(押野4丁目)

4月の市議会議員選挙で5人の新人議員が誕生しました。

これにより議会は、ベテラン議員の引退により若返りが図られました。今後の活躍を見守っていきたいと思っています。

新人議員の皆さんには、任期の4年間の中で野々市市における地域の課題だけでなく行政全体の課題を抽出し、一人で解決策の策定が無理な

ものは仲間と協力して課題解決を目指してもらいたいものです。

昨年「議会だより」が発行され、議案の議決結果、一般質問の内容をよりたやすく知ることができるようになりました。



市民の声が市政に確実に届くように

土用 裕美さん(御経塚三丁目)

私が結婚して野々市に移り住みだし10年程たち、若かった頃は水田ばかりで、何をしても不便な所だったと記憶しております。とても住み続けると思う気持ちになるような野々市ではありませんでした。

あれから二十数年がたち、どちらに向いてもショッピングセンターやスーパーなどが建ち並び、買い物をするには凄く便利な街になりましたが、その反面、犯罪な

どが増え子供達にとって良い街なのか、悪い街なのかと考えるようになりました。

そんな野々市でも見守り隊の方々が、しっかりと子供達をサポートし守って下さいますので、安心して子供を外に行かせる事が出来ます。

これからも今以上に「住んで良かった」と思え、子育て世代の手を煩わすことなく、安心してのびのびと子供を育てていける良い街

5月に野々市市連合町内会研修会で「議員との対話交流会」が開催され、15人全員の抱負、考えを聞く機会がありました。

時間の制約もあり、質疑応答なしでしたが顔を合わせることができ良かったと思いました。

グループで市政報告会を開催して、いろいろな考えを市民に披露して市議会を身近に感じてもらう工夫も必要です。

議会は、単なる行政のチェック機関となることなく、政策立案をして地域活性化、市政発展に寄与していただきたい。

焦ることなく、地に足をつけた今後の各位の活躍を期待しています。



づくりを市議会議員の皆さまに頑張ってもらいたいと思います。『市民の声が市政に確実に届くように』夢、思いを膨らませ期待したいと思います。

野々市から転出なさる方が他へ移っても、「野々市は良かったよ。安心できたよ」と言って頂けるようにしていただきたいものです。

編集後記

○五十川 員申(いかがわかずのぶ)

開かれた議会を実現するために、議会傍聴の告知や、地域でのイベントに参加している事をお話もしていますが、この議会だよりも開かれた議会を実現し皆さんに議員が何をしているのか知っていただくきっかけの一つかと思えます。編集委員会も刷新され委員会でも新たな取り組みについても日々議論を交わしています。少しでも多くの方に、野々市市のまちづくりに興味を抱いて頂けるよう頑張っていきたいと思います。

○宮前 一夫

議会だより、号外・今号とはじめて、議会だより編集委員会に携わらせていただきました。

議会と一口に言っても、年4回開催される定例会だけが議会活動ではないと思えます。

4年間15人の様々な活動を「議会だより」を通して伝えていきたいと思っています。

今後ともよろしく願っています。

表紙説明

夏の風物詩「野々市じよんからまつり」の1シーンです。

